

社会体験の充実にむけた〈花びらモデル〉ご紹介

🌸 「社会体験の充実」に向けて

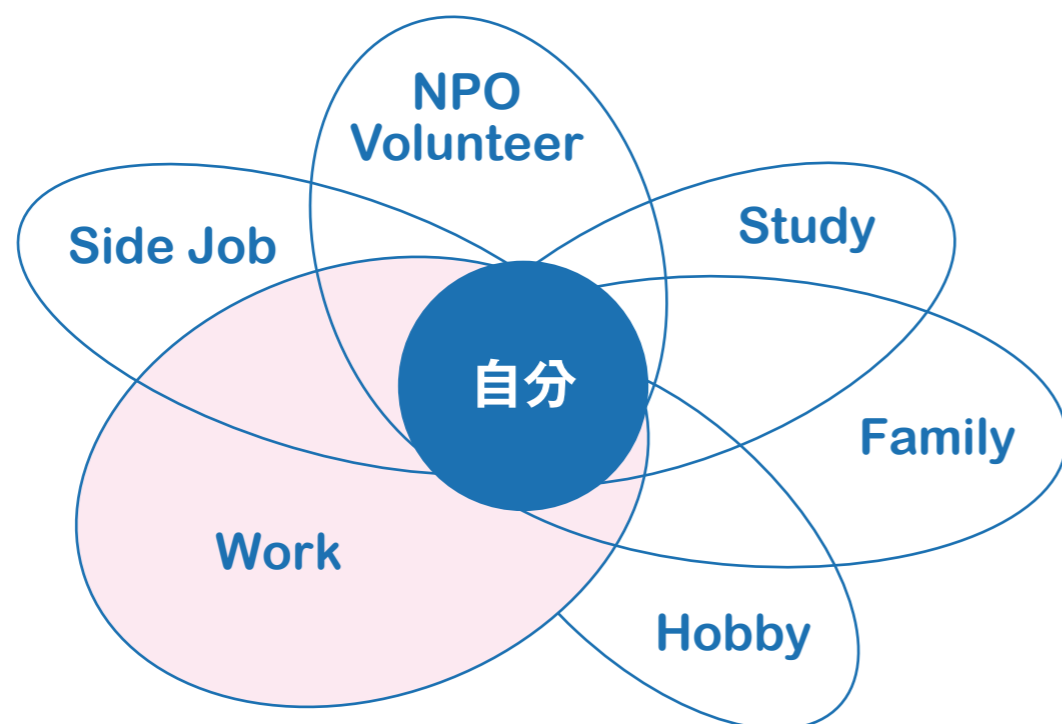
多くの企業が労働時間削減や働き方改革に取り組んでいます。労働時間削減や働き方改革の大切さはわかるものの、実際の行動にはなかなか結びつかないと悩んでおられる企業も多いのではないかと思います

リクルートマネジメントソリューションズでは、働き方改革の目的を「社会体験の充実」を通じた「新たな価値の創造と提供」と置き、目指す状態に向けて労働時間の短縮や、働き方・意識改革を進めています。弊社でも労働時間短縮や働き方改革の大切さは理解するものの、その先の「社会体験の充実」は実感値を持ちにくいと感じる人がいるのも事実です。

そこで下の「花びらモデル」を元に、働き方を変えて労働時間が短くなったらどのようなことをしたいのか、改めて自分自身が何を大切にしたいのかをイメージする“花びらセッション”を行いました。

「花びらモデル」とは、自分を中心にして、現在の仕事とそれ以外の活動領域を花びらのように表現したものです。「花びらセッション」では、「花びらモデル」にある視点を元に、労働時間を短くして取り組みたいことや大切にしたいことなどを自由に記述し、各自で共有しました。個々人にとって、充実させたい社会体験は異なります。そこで、花びらの数や名前、大きさなども自由に変えて活用しました。ありたい自分を言葉にすることで、その実現にむけ、働き方改革に主体的に取り組むことを促します。

[社会体験の充実]

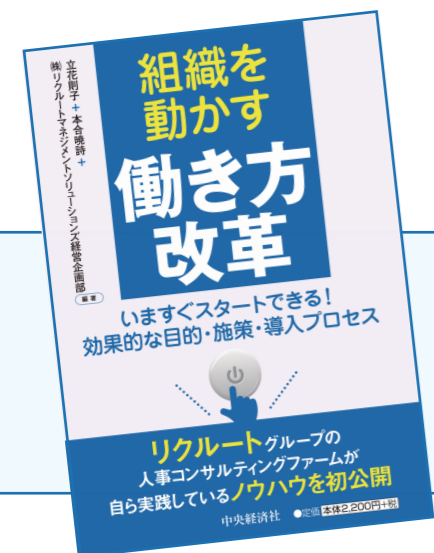
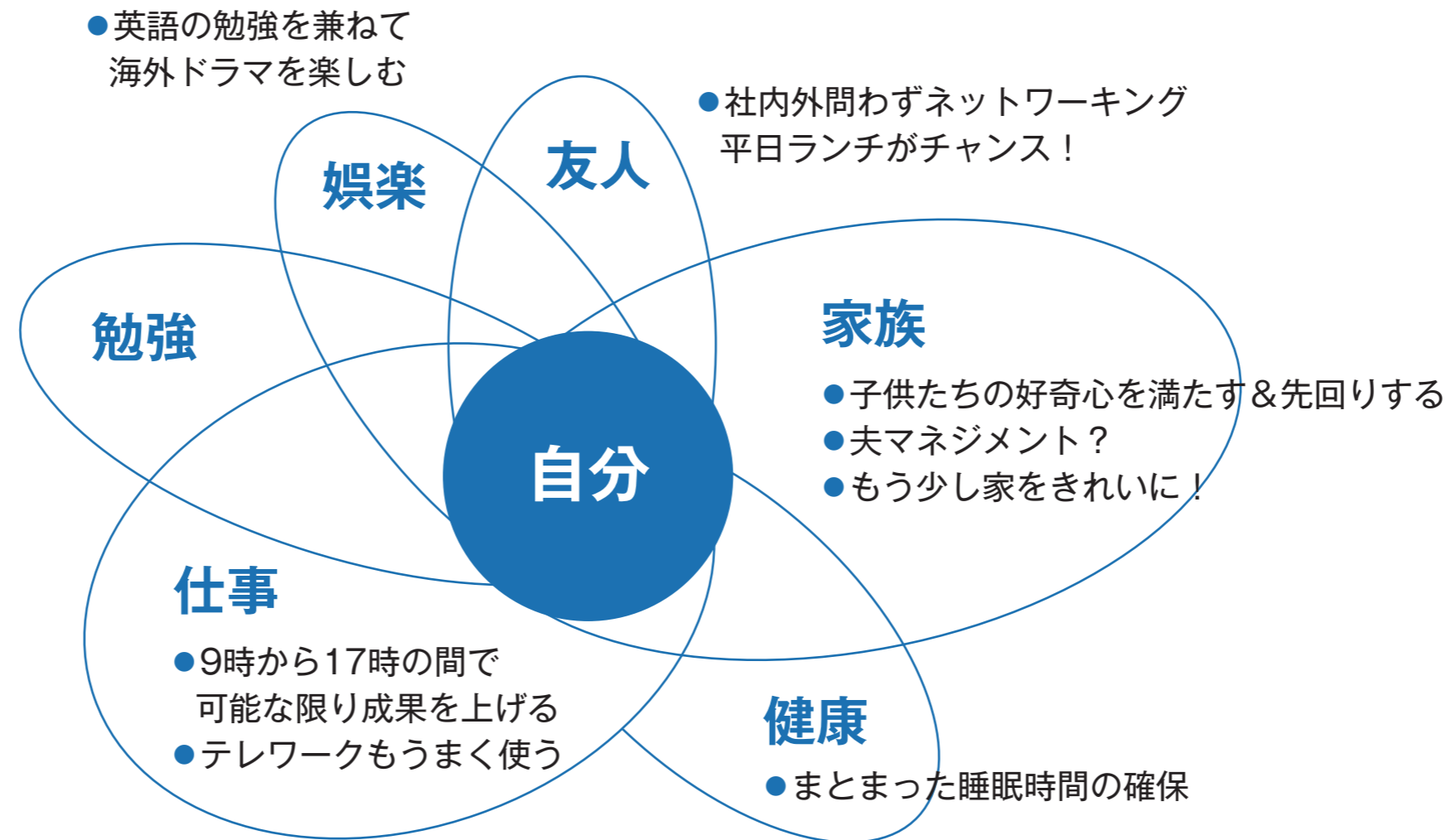


顧客・ステークホルダーに向けて、
新たな価値を創造し、提供

🌸 〈花びらモデル〉記入事例

育児短時間制度を利用している、ある女性の従業員の花びらモデルの記入事例をご紹介します。
育児と仕事の花びらが最も大きく、次が「健康」となっています。彼女は、他の花びらに「勉強」「娯楽」「友人」を置き、この時間を豊かにしたい、と語っていました。

働き方改革を、個人の「やりたいこと」とつなげることで、1人ひとりのモチベーションも高まりますし、共に働く人たちの「花びらモデル」を知ることで、互いに支援する動きへとつながります。
労働時間を短くすることを目的とするのではなく、その先にどのような「生き方」をイメージしたいのかを考えるひとつの参考ツールとして、ご活用いただけたら幸いです。



本記事は、弊社の働き方改革の取り組みをご紹介した、「組織を動かす働き方改革—いますぐスタートできる!効果的な目的・施策・導入プロセス」(中央経済社、立花則子・本合暁詩・(株)リクルートマネジメントソリューションズ経営企画部 [編著])から抜粋・再編集したものです。本ワークショップの内容を含む、弊社の働き方改革の取り組みの詳細は、本書にてご紹介しています。

🌸 使い方

「花びらモデル」の花びらの中に、労働時間を短くして取り組みたいことや大切にしたいことを自由に記述してみましょう。花びらの数や名前、大きさなどは、ご自身に合わせて自由に変更してください。

